

- ・ 成果発表（レフェリー制のあるジャーナルには * 印を付ける）

<原著論文>

- ・ 新納美美「看護学における倫理の基礎とその課題—看護覚書からの検討」, *日本看護倫理学会誌 3(9), pp. 1-9, 2017. 3.
- ・ 尾崎有紀「バークリ哲学における物理的空間の構成」, *哲学年報 62 号, pp. 1-18, 2016. 10.
- ・ 会場健大「因果の多義性を擁護する—CartwrightとWoodwardの議論を中心に—」, *哲学年報 62 号, 2016. 10.
- ・ 高橋和孝「カルナップ哲学における「解明」の役割についての考察—カルナップ＝クワイン論争を足掛かりとして—」（研究ノート）, 科学哲学科学史研究, 第 11 号, 2017. 3.

- ・ 学術講演（国内学会・国内その他）（発表者に * 印を付ける）

<招待（依頼）講演>

- ・ *松王政浩「統計哲学教育の試み」, 統計教育研究会, 統計数理研究所, 2017. 3. 9.
- ・ *松王政浩「確率統計をめぐる人工知能の哲学的問題と哲学者」, 日本科学哲学会シンポジウム「人工知能と哲学：知能の理解と実現に挑む工学と哲学の対話」提題, 信州大学松本キャンパス, 2016. 11. 19.
- ・ *Matsuo, M. ‘Some philosophical viewpoints on the model selection theory’, International Symposium in the Institute of Statistical Mathematics – What is a good model? Evidential statistics information criterion and model evaluation., 13 January (12-13 Jan.), 2016, Tokyo, Japan.

<一般講演>《口頭発表》

- ・ *本間真佐人「Weisberg, M. *Simulation and Similarity*の評価」科研費「コンピュータ・シミュレーションの科学論」研究会, 国立科学博物館, 2017. 3.
- ・ *会場健大「確率的因果論と統計的因果推論の概念整理を目指して」, 第 2 回科研費研究会（「科学教育の一環としての統計学認識論に関する教育カリキュラム構築」, 北海道大学, 2017. 3. 22.
- ・ *高橋和孝「カルナップの確証の理論とベイズ主義」, 第 2 回科研費研究会（「科学教育の一環としての統計学認識論に関する教育カリキュラム構築」, 北海道大学, 2017. 3. 22.
- ・ *佐々木崇志「哲学的ベイズ主義とベイズ統計学の逆問題の捉え方」, 北海道哲学会, 北海道大学, 2016. 12. 17.
- ・ *本間真佐人「第三のアブダクション解釈によるCADDISの方法論の検討」, 日本科学哲学会, 信州大学松本キャンパス, 2016. 11. 20.
- ・ Aiba, T. ‘Does effect size really help frequentism?’, 6th Asia Pacific Conference on Philosophy of Science, Sept 10, 2016, Kyoto.
- ・ 小野田波里「一般相対性理論における時空の概念について」, 科学基礎論夏のセミナー, 北海道大学, 2016. 9. 2.

- ・ 高橋和孝「カルナップは還元主義か」, 科学基礎論学会, 埼玉大学, 2016. 6. 19.

- ・ **科研費、助成金等の取得状況**

- ・ 「科学教育の一環としての統計学認識論に関する教育カリキュラム構築」H28-31 (基盤研究B 課題番号: 16H03050, 研究代表者: 松王政浩, 研究分担者: 島谷健一郎 (統数研), 森元良太 (北海道医療大), 川本思心 (北大))